

「こんにちは！知事です（八幡浜地方局）」

日 時 平成15年10月28日（火）15:00～17:00

場 所 歴史文化博物館

参加いただいた方々

	住所	氏 名		住所	氏 名
1	三瓶町	井上 智子	10	宇和町	三好 照久
2	〃	菊池マキ子	11	〃	渡邊 邦廣
3	〃	松本 芳隆	12	野村町	宇都宮完美
4	〃	山本 正吉	13	〃	角藤美佐子
5	明浜町	篠川 一雄	14	〃	河野 清
6	〃	山下 重政	15	〃	高橋百合子
7	宇和町	清家 紘一	16	〃	谷本 英樹
8	〃	高原喜久子	17	城川町	土居 典子
9	〃	松浦 愛子	18	〃	西 勝海

懇談の概要

米生産調整の早期連絡

特定農業法人を立ち上げたが、米政策の遅れで集落営農に関する営農計画ができない。米政策は、米を作ることが中心で、減反の連絡がないので、転作の方向付けができない。減反の施策を早く現場に知らせてほしい。

(産業経済部長)

来年度から米政策が大きく変わり、市町村が減反の金額を決めることになる。現在、市町村で準備中である。

[対応]

今回から減反面積でなく目標生産量と作付面積が示され、従来の一律な減反助成に替わり、市町村段階で使い道を決められる産地づくり対策が創設されるため、各市町村で試案を作成中である。

休漁期間の設定変更

小型底引き漁は5月と8月1日から14日までが休みと決められている。宇和海底引協議会に夏季期間の休みを8月中旬以降に変更するよう申し入れている。大分県との絡みもあるので県の方で何とかしてほしい。

(知事)

確認したい。

[対応]

宇和海での小型機船底引き網漁業の禁止期間は、愛媛県漁業調整規則に規定されており、規則改正には、愛媛海区漁業調整委員会の意見を聴き、国の承認を受ける必要がある。

禁止期間変更は、地元の漁業団体と協議を進めており、変更の妥当性が認められれば、前記委員会や水産庁と協議していく。

なお、大分県海域では、8月1日～8月31日の間(海域によっては7月1日～8月31日)は禁止期間となっている。

自家製苗木への助成金の創設

植林するための苗木を自分たちで育てている。自家製苗木への助成金を考えてもらえないか。

(知事)

いい提案である。税の使い道として、森林環境税の森づくり検討委員会で検討する。

[対応]

国庫補助造林事業では、国の指導で、造林補助に用いる苗木は、優良種苗として、県が確認したものを優先することとされており、自家製苗木は、現在のところ補助対象外であるが、県では、篤林家等が養成したクローンで特に優良であると選抜された代表的なものについて、平成12年度から生長状況等その優良性を確認調査している。これらの結果を林木育種協議会等で協議し、造林補助対象苗木として適当であるか判断することとしているので、現状と提案内容を「森林環境税の活用による森づくり検討委員会」で検討したい。

農業ベンチャー支援事業に替わる事業の紹介

農業ベンチャー支援事業がなくなったと聞いたが、それに替わる事業はないのか。

(知事)

調べて連絡する。

[対応]

認定農業者個人を対象としたベンチャー農業者支援リース事業は11年度からの3カ年事業で、現在は終了しているが、13年度から21世紀型農業産地育成事業を実施しており、受益戸数が2戸以上の認定農業者等であれば、この事業で対応できる。

豊予海峡ルート of 展望

大分県知事と対談した結果、豊予海峡ルートの展望はどうなったか。

(知事)

豊予海峡ルートの近い将来の実現が難しいことは、愛媛、大分両県で一致している。いつの日になるかわからないが、実現するまで火を灯し続けることを大分県も受け入れた。両県とも実現を諦めてはいないが、今の最優先課題は、一本松町までの高速道路延伸である。

少子化対策

子供が減っているし、結婚しない人も多くなっている。何かいい方法がないのか。

(知事)

なかなか決め手がない。県では、子育て支援に努めているが、余力のある人が手をさしのべる助け合いのネットワークを重点的に作っていきたい。

これからの介護保険制度

介護保険制度の今後についてお聞かせいただきたい。

(知事)

県の介護給付費の負担は毎年100億円以上になる。内訳は、国が25%、県、市町村が各々12.5%、65歳未満の給付対象外の人が33%で、65歳以上の給付対象者は17%である。このままではパンクすると思う。要介護認定を受け、施設に入れば月33万円の介護給付費が必要になるが、在宅介護であれば月9万円で済む。在宅介護を基本に、みんなが助け合う仕組み「愛と心のネットワーク」の構想を進めている。

三世代交流の促進

少子高齢化が進んで、小学校を合併するという問題も出てきている。小学校の近くに老人施設があれば、三世代交流ができると思う。

(知事)

小学校に空き教室がかなり出てきており、空き教室をグループホームにすればいいと思う。子供とお年寄りが共存できるような社会、それが例えば空き教室を利用したグループホームじゃないのかと思う。

少子化、高齢化対策

どの地区でも少子化、高齢化、過疎が問題になっている。新しい制度ができて、基準にあわず、対応できないことが多いので、県独自で住民の声に応じた施策を講じられるよう期待している。

(知事)

県単独で、民家を改修しバリアフリーを施す補助制度を6月補正予算で作った。適用しやすいよう弾力化した制度であるので、町に問い合わせさせていただきたい。

えひめ町並博2004の成功

町並博を是非成功させてもらいたい。地元住民も参加するので、よろしくをお願いします。

(知事)

県からも、地元のご協力をお願いしたい。これまでの博覧会と違い、パビリオンはない、今あるものを博覧する博覧会である。地域住民のそれぞれの盛り上がりによる自主企画のイベントを中心に、県として、しまなみ海道、道後温泉、内子・大洲・宇和の三点セットを観光資源として売り込む最大の努力をする。

みかん研究所

みかんが低迷しているので、みかん研究所に期待している。研究課題に光センサーの活用方法を取り入れてほしい。

柑橘のエコ愛媛第1号の指定を受けた。県が進めている環境保全型農業の指導をしてほしい。

(知事)

9月県議会で用地取得の調査費等を計上した。光センサーの活用方法を研究課題にすることは検討材料としたい。

エコ愛媛の指定を受けられたことで、農薬減少の方向で努力していただけると思う。

農業後継者対策等の事業の紹介

今の農業は高齢化社会になり後継者がすごく減っている。農業後継者、リターン農業者への助成制度はないのか。

(知事)

農業後継者の対策には力を入れており、研修の経費、機械、設備のリースの問題とか相談にのれる様々な制度がある。提案があれば可能な限り制度化していく。

山林の将来展望

山が荒廃している。山の将来展望、山に関する知事の考えを聞きたい。

(知事)

県政の最重要施策として取り組んでいる。平成13年を森林そ生元年として、水源の森づくりモデル事業を行っている。昨年からは県・市町村の公共施設で2階建て以下の建物は、原則木造にしているほか、一般の木造住宅にも県産材使用に助成している。久万町には、集成材の工場ができた。

愛媛県は、全国のなかで一番取り組んでいる県であると自負している。

林業研究大会グループの県総会への知事出席要請

知事に林業研究大会グループの県総会に出席していただき、愛媛の林業に関する話をみんなの前でしてほしい。

(知事)

来年は是非出席したい。

農村の整備事業の早期対応

農業集落排水、公共下水、圃場整備の各事業の継続実施をお願いしたい。県は、陳情してから事業実施されるまでの対応が遅いので、河川改修、県道整備を早く実現をしてほしい。

(知事)

県財政が厳しい状況になってから、特に土木建設事業は毎年予算を切り込んでいっているので、どうしても対応が遅くなる。この状況はしばらく続くと思う。

ヒアリングへの農家の参加

農家が農協に任せて農産物を売るのであれば後継者は育たない。自分で作ったものは自分で売ることが必要である。ヒアリングに、市町村、農協の担当者だけでなく農家の人間を参加させてほしい。

(知事)

農業に限らず、商店街にも同じ悩みがある。知恵、アイデア、取り組みの具体的事例があれば、制度化してみたい。御意見は、農業改良普及普及指導員とかを通じて具体的に県に提案してほしい。

落石防止対策

遊子川地区に落石の多い地域があり、小学生の通学路になっている。落石防止のための道路改良をお願いし、工事をすることになったが、保安林の問題もあり、まだ完成していない。優先的に工事をお願いしたい。

(宇和土木事務所長)

測量を実施したが、事業費の減少によりまだ着手していない。当面、落石防止対策を講じる。

(知事)

緊急度の問題である。重要性を判断して対応する。

鹿野川ダムのアオコ対策

鹿野川ダムに生活雑排水の流入による大量のアオコが発生している。婦人会では、米のとぎ汁をそのままは排水しないで、EM発酵液を作り、それを混ぜて排水しているが、県はどのように考えているのか。

また、鹿野川ダムのアオコを除去してほしい。

(知事)

補正予算を計上し、鹿野川ダムのアオコを除去することにしている。生活雑排水が流れ込まないようにしないとアオコはなくなる。野村町長、宇和町長に農業集落排水施設、合併浄化槽の対応をお願いした。住民が自費で合併浄

化槽をつけることの理解を得なければならないのが大変である。平素、御努力いただいていることに感謝する。

命の大切さの教育

人の命の大切さを真剣に考えるべきである。その方法として、国が作成した家庭教育ノート、家庭教育手帳を活用すべきである。

(知事)

おっしゃるとおりだ。人の命の大切さは、学習指導要領に書かれているが、具体的に教育に反映されていない。パンフレット等は、本当に読んでもらいたい人は読まないが、弛みない努力を続けるしかない。

伝統芸能の伝承

県内に人形浄瑠璃芝居が5座ある。平成4年以降、義太夫の三味線を弾く人がいなくなったが、平成12年度に開始した伝統芸能担い手育成事業でその基礎ができた。財政的に余裕ができたなら、再度事業を実施してほしい。

(知事)

せっかく芽が出てきたので、愛媛の伝統芸能を維持しようとする気持ちに込められるよう努力する。教育委員会によく申し伝える。

宇和町中町地区の重要伝統的建造物群保存地区の選定

昭和58年から、宇和町中町の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けて活動している。本年9月に、宇和町伝統的建造物群保存地区保存条例の答申があった。合併までに文化庁に選定されるよう力添えをお願いしたい。

(知事)

内子の選定の時に同時に上がらなかったのが不思議であったが、地元での気運が盛り上がり喜んでいる。できれば町並博の開催までに選定されたと願っている。

文化協会総会への出席のお礼

総会で知事の話を知るとファイトが湧くので、これからもできる限り出席していただきたい。

(知事)

可能な限り要望に応える。

警察署の統合、警察官の指導

合併により警察署が統合されたら、地方の治安の充実が図れなくなる。
警察官の不祥事に対して、職員の資質向上を図るため指導してほしい。

(知事)

県の地方機関の整理統合を検討しており、簡素化スリム化を目指している。
警察に対しても整理統合をお願いしている。残すことに県民の理解が得られる
のかどうか。御意見の意向をふまえて検討する。

警察官の指導については、県警察本部長に伝える。